

平成27年3月27日

附属図書館 特色ある空間がオープン ～岡山県産材ヒノキ、備前焼タイルを使用～

本学は、附属中央図書館内の一部を改修整備し、平成27年4月1日（水）にリニューアルオープンします。改修したのは、本館2、3階の北東部分と時計塔2階部分。岡山県産材ヒノキ、備前焼タイルを使用しているのが特徴です。

本館2階北東部分は、「サルトフロresta（Salto Floresta）」（スペイン語で「飛翔の森」という意味）と命名。森をイメージした空間で壁面や机にヒノキを使っています。学生・大学院生が研究者や実業界の方たちと学術を通じた交流をするスペースです。時計塔2階は壁面に備前焼のタイルを使用し、落ち着いた空間に仕上げました。

平成27年4月10日（金）、本改修を記念し、大学院生（先輩）が学部学生（後輩）に自身の研究内容を熱く語るポスターセッション「院生が語る、岡大研究最前線」を開催します。

【記念イベント】ポスターセッション「院生が語る、岡大研究最前線」

日時：平成27年4月10日（金）15：30～16：30

場所：中央図書館本館2階 サルトフロresta（Salto Floresta）

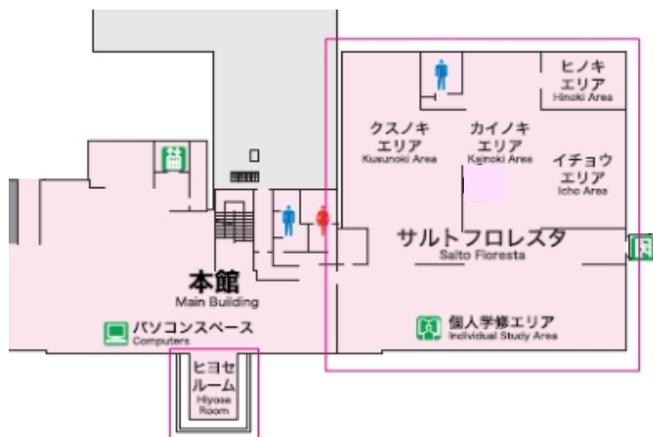
日程：15:30～15:40 ご挨拶

15:40～16:00 改修場所の案内

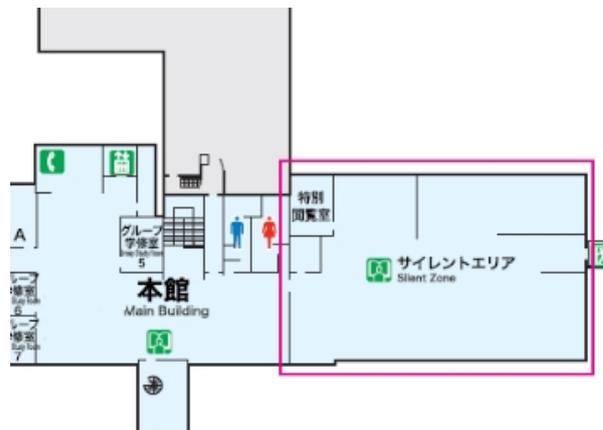
16:00～16:30 ポスターセッション

【フロアマップ】囲まれた部分が今回改修したエリア

(2階)



(3階)





PRESS RELEASE

【エリアの紹介】

- ① カイノキエリア ひとりひとり思い思いのスタイルで思索を巡らしていただく場。
孔子を慕って弟子が墓所に植えた木、カイノキから名付けました。
- ② イチョウエリア 学術展示や研究発表などのイベントのために集い出会う場。
人々に愛され広められた太古の木、イチョウから名付けました。
- ③ クスノキエリア 社会への飛躍の土台となる学問を、時間をかけてしっかりと築く場。
長い年月をかけて巨木へと育つ木、クスノキから名付けました。
- ④ ヒノキエリア かけがえのない友と出会い、時に語らい、時に議論を戦わせる場。
心安らぐ香りをもつ日本人の心の木、ヒノキから名付けました。
- ⑤ ヒヨセルーム 積み重ねた学修から確固たる志を醸成していく場。
焼締めにより名陶となる備前焼の素材土、ヒヨセから名付けました。



<お問い合わせ>

岡山大学附属図書館

主査 甲 彰一

(電話番号) 086-251-7304

(FAX番号) 086-251-7314